

16.11.14

乙

管財第一四四四號

決裁
昭和十六年十一月一〇日
接受
昭和十六年十一月一〇日
起案
昭和十六年十一月一〇日
施行
昭和十六年十一月一〇日
監督
昭和十六年十一月一〇日
書記
昭和十六年十一月一〇日
行上
合校
昭和十六年十一月一〇日
完結
昭和十六年十一月一〇日
送發
昭和十六年十一月一〇日

次官

文書課長

主任

内村

大臣

案

拓

筋

大臣

大蔵大臣

石

名

印

會計検査院長

石

名

印

研-0445

0422

公金被寄=關スル件

休
同
存

元朝鮮總督府外務局京城不忠張所勤務被爭松濤清外三名係ル公文書

偽造行使詐欺業務被領事件公私訴判決寫辦別紙〔通報通知ス

追補被掌總額金壹萬參千參百九拾圓參拾七錢内金貳千七百參拾圓四拾四錢ハ

別紙(一)通犯人等二於辨濟ニ乞モ總額金壹萬六百六拾五圓九拾參錢付テ、何

止モ資產ニ付貸付金ニ編入方自下處理中ニ付申添

別紙主務課保管

(起案用紙一號ノ二)

0423

研-0445

別下

一紙

一、犯人ノ職業氏名

元朝鮮總督府内務局京城土木出張所勤務休職技手

松添清

昭和十六年七月七日失當

金今先

雇(傭人)

昭和十四年五月三十一日解職

朴常天(傭人)

昭和十四年五月三十日解職

朝鮮總督府

元威鏡南道清津治水事務所勤務雇員

谷口季敏

昭和十四年六月十日解職

二、被害ノ日時及場所

自昭和十四年五月十五日至同

内務局京城土木出張所陽川工場並一山工場

三、被害人原因タル事實人狀況

四、被害金額

金壹萬參千參百九拾六圓參拾七錢也

日本標準規格 B4(364×257mm.) 太平堂納

五 被害事實發見ノ動機

由來京城土木出張所工場事務ノ取扱方ニ關シテハ不正未前防止上
最善ヲ盡ス外検査監督ヲ爲シ萬全ヲ期シ來リタリト雖本件ヘ工場
係員全ク一團トナリ不正行爲ヲ敢テ爲シタル爲發覺ノ端緒ヲ得ル
ニ至ラザリシカ該工場勤務助手松田藤吉ナル者昭和十四年四月十
七日京城西大門警察署ニ密告スルニ及ビ之ガ事件ノ發覺ベルニ至
リタムモノナリ

六 責任者處分ノ要旨

犯人松添清外三名ニ對シテハ昭和十六年七月七日京城地方法院ニ
於テ別紙判決寫ノ通言渡アリタリ

尙監督上ノ責任者ニ付テハ昭和十五年二月十一日勅令第四十七號
ニ依リ處分ヲ行ハザルモ將來萬遺憾ナキヲ期ベタ戒告セリ

七 參考事項

(1) 本件犯罪中物品騙取ニ付被害ノ狀況別紙添付ス

朝鮮總督府

(2) 被害金ニ付テハ犯人ノ俸給其他土木出張所ニ於テ領置中ノモノ約
貳千參百圓及檢事局ヨリ受領實却ノ上辨償可能見込物件十五點ア
ルニ依リ右處分ノ上ハ歲入ニ納付シ殘額ハ据置貲トシテ處理ノ見
込ニ付追報ス

公訴判決寫

職員公文書偽造汎使詐欺
業務横領ノ判決謹申

研-0445

0426

昭和十五年刑公第一五〇九號

判決

本籍 長崎縣西彼杵郡霧浦村字上郷二三百一番地

住居 不定

休職 朝鮮總督府技手

松添清

當三十六年

本籍並住居 京畿道金浦郡金浦面北邊里三百五十六番地

無職 元朝鮮總督府內務局京城土木出張所一山工場雇

金今先

朝鮮總督府

本籍 能本縣八代郡上松求麻村字荒瀬千二百八番地

住居 不定

無職 元朝鮮總督府咸鏡南道廳員

谷口季敏

當三十七年

本籍並住居 東畿道金浦郡陽村面橫山里六百十六番地

無職 元朝鮮總督府內務局京城土木出張所一山工場常夫

朴聖緒

當三十二年

被告人松添清及金今先ニ對スル公文書偽造行使詐欺業務横領、被告人谷口季敏及朴聖緒ニ對スル公文書偽造行使詐欺被告事件ニ付朝鮮總督府檢事關内務大審理ヲ遂ケ

判決スルコト左ノ如シ	主文
被告人松添清ヲ懲役二年六月ニ處ス	但右被告人兩名ニ對シ未決勾留日數中五百四十日ヲ右各本刑ニ算入ス
被告人金今先ヲ懲役一年八月ニ處ス	但右被告人兩名ニ對シ未決勾留日數中右各本刑ニ相當スル日數ヲ右各本刑ニ算入ス
被告人谷口季敏ヲ懲役一年四月ニ處ス	但右被告人兩名ニ對シ未決勾留日數中右各本刑ニ相當スル日數ヲ右各本刑ニ算入ス
被告人朴璣緒ヲ懲役一年ニ處ス	押收ニ係ル別紙第一、二表掲記ノ虛偽文書中傭人就役票全部及爾餘ノ各
刑ニ算入ス	押收ニ係ル別紙第三乃至六表掲記ノ虛偽文書中昭和十三年六月以前ノ
文書内ノ各虛偽部分ハ被告人松添清及谷口季敏ニ對シ之ヲ沒收ス	押收ニ係ル別紙第三乃至六表掲記ノ虛偽文書中昭和十三年六月以前ノ
被告人松添清及金今先ニ對シ之ヲ沒收ス	被告人傭人票及就役票ノ各全部及同月以前ノ爾餘ノ各文書内ノ各虛偽部分ハ
人債人票及就役票ノ各全部及同月以降ノ爾餘ノ格文書内ノ各虛偽部分ハ	ハ被告人松添清及金今先ニ對シ之ヲ沒收ス
被告人松添清、金今先及朴璣緒ニ對シ之ヲ沒收ス	押收ニ係ル別紙第三乃至六表掲記ノ虛偽文書中昭和十三年七月以降ノ傭
人債人票及就役票ノ各全部及同月以降ノ爾餘ノ格文書内ノ各虛偽部分ハ	訴訟費用中證人金在成ニ支給シタル分ハ被告人松添清及谷口季敏ノ、證
人清水銀松ニ支給シタル分ハ被告人松添清、金今先及朴璣緒ノ各連帶負	擔トス

理 由

第一、被告人松添清ハ昭和十一年一月二十日朝鮮總督府技手ヲ拜命シ同年六月十一日同府内務局京城土木出張所勤務ヲ命セラレ昭和十二年四月二十八

日同出張所陽川工場主任ト爲リ次テ昭和十三年一月十五日同出張所一山工

場主任ニ轉シ昭和十四年七月十四日休職ト爲リタルモノナルトコロ

右京城土木出張所直營工事タルニ山浦下流護岸追加工事用石材並中面護岸及ケル右出張所直營工事タルニ山浦下流護岸追加工事用石材並中面護岸及

水制工事用石材ノ各採取運搬工事等施行ノ責ニ任シ之カ爲人夫傭人及就

役人夫ニ交付スル就役票（賃金傳票）等文書ノ作成保管其ノ他工場内ノ

一切ノ事項ヲ監理中右工場ニ於テハ人夫ニ對シ直接賃金ノ支拂ヲ爲サス

朝 鮮 總 督 府

點検査察係ニ於テ毎日工事現場ニ到リ就役人夫ノ出面點檢ヲ爲シ備へ點檢表ニ就

役人夫ノ氏名ヲ記載スルヨ代へ人夫ノ捺印ヲ徵シ之ニ日給又ヘ課程賃金

ヲ記載シ次テ勞力費整理代帳ニ人夫種別（例ヘハ石工坑夫鋸治工等）ニ

集計シタル出面數及賃金額ヲ記載シ之ヲ工事費トシテ費消シタル旨記載

シ更ニ之ヲ豫算差引簿ニ工種細目別ニ勞力費トシテ計上シテ差引豫算現在

高ヲ明瞭ナラシムルト共ニ右點檢表ニ基キ人夫氏名就役月日及賃金額等

ヲ表示スル就役票ヲ作成シ人夫ニ交付シ受領人夫ヘ定メラレタル賃金立

替拂人ニ就役票ヲ交付シ一定手數料ヲ支拂ヒテ賃金立替拂ヲ受ケ立替拂

人ヘ毎月二回立替拂賃金ヲ賃金受領代人トシテ京城土木出張所ニ對シ支

拂請求ヲ爲シ同出張所ニ於テハ同工場ヨリ二日目若ヘ三日目毎ニ前記

點検表ヲ毎月二回宛半月分ノ使用人夫別出面數及賃金額等ヲ集計記載
シタル傭人使役證明書ヲ各送付シ來ルヲ以テ請求ノ都度之等文書ヲ調査
査ノ上右受領代人ニ賃金支拂フ爲シ毎月五日頃迄ニヘ同工場ヨリ前月
ニ於ケル工事ノ設計高タル數量及金額ニ對スル竣工高タル數量及費消
金額等ヲ比較シ工事進捗程度（出來高ノ歩合）ヲ記載シタル工事功程
報告書其ノ労力費ノ細別ヲ表示シタル同報告書附表及前記豫算差引表
ニ基キ作成シタル豫算現在表等ヲ京城土木本張所ニ送付スル手續ヲ爲
シ居リ尙絞上各文書ハ執レモ各工場毎ニ作成整理シ居リタルカ前記各工
事ハ執レモ豫算消費額ニ比シ工事功程進捗シ居リタルトヨロヨリ被
告人谷口季敏ト共謀ノ上右各工事ニ付虛無ノ人夫ヲ使役シタルカ如ク
朝鮮總督府
裝ヒ前記點検表其ノ他虚偽ノ文書ヲ作成行使シテ京城土木本張所ヨリ
金員ヲ騙取セムコトヲ企テ昭和十二年六月十日頃ヨリ同年十二月三十
一日頃迄ノ間前記陽川工場ニ於テ先ツ職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ擅
ニ事務係主席タル被告人谷口季敏（工場雇）、記帳係タル金鍾萬（當事者）
夫）等職員ヲシテ毎日各工事每各工種別ニ作成スヘキ前絞傭人點検表
ニ別紙第一、二表幽靈人夫欄表示ノ如ク虚實不明ノ申仁得外九十六名
延人員一千六百九十一名ヲ石工坑夫木頭等人夫トシテ一日數人又ヘ數
十人宛一人前賃金十二錢乃至五圓三十六錢前記期間内ニ於テヘ賃金計
金三千四百十一圓七十七錢ニテ使役シタル如ク虚偽ノ記載ヲ爲サシメ
工場主任欄ニヘ自己ノ檢閱印ヲ押捺シテ虚偽ノ傭人點検表一通宛計數

百通（別紙）一、二表點檢表欄掲記ノ證據ハ執レモ右	通ノ内一通ニシテ其ノ虛偽部分ハ該點檢表中赤又ハ黃若クハ白ノ附箋ヲ附シタル頁内ノ各人夫欄中摘要欄ニ赤〇又ハ赤△若クハ赤×印ヲ附シタル欄ナリ）ヲ順次作成シ其ノ都度内一通ヲ同工場ニ備付ケ他ノ一通ヲ京城土木出張所ニ送付シテ夫々行使シ次テ右期間内同工場ニ於テ前同様欄ニ被告人谷口季敏及金鍾萬ヲシテ右虛偽ノ點檢表ニ基キ其ノ虛偽部分ニ照應セシメ各該當工事ニ關スル同工場名義ノ前敍各勞力費整理台帳及各豫算差引簿ニ夫々數百回ニ亘リ前記虛無ノ人夫賃金ヲ人夫ニ對スル賃金トシテ眞實實消シタル如ク順次虛偽ノ記載ヲ爲サシメ（前記各表各該當文書欄掲記ノ證據中）其ノ都度之等帳簿ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使スルト共ニ前同様欄ニ前記金鍾萬等ヲシテ前記虛偽ノ點檢表ニ基キ其ノ虛偽部分ニ照應セシメ京城土木出張所名義ノ就役票用紙ニ前敍虛實不明ノ人夫氏名就役月日及賃金額（金十二錢乃至三圓三十六錢前記期間内ニ於テハ計金三千四百十一圓七十七錢）等ヲ記入セシメ工場主任欄ニハ自己ノ檢閱印ヲ押捺シテ該人夫カ夫々額面金額ノ賃金ニテ就役シタルコトヲ證スル旨ノ虛偽ノ就役票一千六百九十通（前記各票就役票欄掲記ノ證據）ヲ一回ニ數通又ハ數十通宛數百回ニ亘リ順次作成シ其ノ都度被告人谷口季敏等職員ヲシテ指定人夫賃金立替拂入タル京畿道金浦郡陽東面加陽里二百二十五番地金慶熙ノ代理人タル同里同番地金在戍ヨリ右就役票ト引換ニ其ノ額面金額ヨリ一	朝鮮總督府
--------------------------	--	-------

定手數料ヲ控除シテ前記各表立替金額欄表示ノ如ク計金三千三百十八
圓九錢ヲ賃金立替拂名義ノ下ニ數百回ニ亘リ受取ラシムルト共ニ右金
在戍力前絞ノ如ク絞上虛偽ノ就役票額面金額ヲ立替拂賃金トシテ支拂
請求ヲ爲シタル際京城土木出張所ヲシテ之ヲ支拂ハシムル爲昭和十二
年六月十六日頃ヨリ昭和十三年一月初旬頃迄ノ間陽川工場ニ於テ十五
同ニ亘リ前同様擅ニ被告人谷口季敏等職員ヲシテ右虛偽ノ點檢表ニ基
キ其ノ虛偽部分ニ照應セシメ毎月二回各工事毎ニ作成スヘキ工場主任
松添清名義ノ前絞傭人使役證明ニ前絞虛無ノ人夫ヲ眞實使役シタルコ
トヲ證スル旨ノ記載ヲ爲サシメテ虛偽ノ該證明書三通乃至四通宛（前
記各表虛偽使役證明書欄掲記ノ證據中）ヲ順次作成シ一通ヲ同工場ニ
朝鮮總督府
備付ケシメ他ノ二通又ハ三通ヲ同出張所ニ送付セシメテ夫々行使シ更
昭和十二年七月初旬頃ヨリ
昭和十三年一月初旬頃迄ノ間陽川工場ニ於テ十五回ニ亘リ前同様擅
ニ被告人谷口季敏等ヲシテ右虛偽ノ點檢表ニ基キ其ノ虛偽部分ニ照應
セシメ毎月五日各工事毎ニ作成スヘキ工場主任松添清名義ノ前絞工事
功程報告 同報告 書附表及豫算現在票ニ夫々前絞金額ヲ工事費トシテ
費消シタル旨記載セシメテ虛偽ノ右各文書各 二通宛（前記各表各該當
文書欄掲記ノ證據中）ヲ順次作成シ其ノ都度各一通ヲ陽川工場ニ備付
ケシメ各一通ヲ同出張所ニ一括シテ送付セシメテ夫々行使シ而シテ京
城土木出張所係員ヲシテ絞上傭人點檢表及傭人使役證明書ヲ眞正ナル
文書ナリト誤信セシメ因テ其ノ頃同出張所ニ於テ十數回ニ亘リ同係員

ヲシテ前記各表驅取金額欄表示ノ如ク計金三千四百十一圓七十七錢ヲ

前記立替拂人ノ代理人タル金在成ニ交付セシメテ之ヲ驅取シ

(二)京城土木出張所一山工場主任トシテ同出張所長ノ命ニ依リ同工場ニ於

ケル同出張所直營漢江改修工事タル中西護岸及水制工事、一山堤補強

工事、二山浦下流護岸追加工事並金浦第十一護岸工事等施行ノ責ニ任

シ之力爲人夫ノ傭入、就役人夫ニ交付スル就役票等文書ノ作成保管其

ノ他工場内ノ一切ノ事項ヲ監理中同工場ニ於ケル人夫就役票ノ作成其

ノ他事務取扱手續ハ同出張所工場事務取扱手續改正後ニ屬スルヲ以テ

前敍陽川工場ニ於ケルト幾分其ノ取扱手續ヲ異ニシ先ツ人夫傭人ヲ爲

スニ當リ傭人傭入票ニ傭入人夫ノ本籍住居年齢氏名賃金其ノ者ニ與ヘ

朝鮮總督府

タル人夫番號等ヲ記載シ其ノ者ノ捺印ヲ徵シ工場主任ニ於テ檢閱印ヲ

押捺シテ傭入手續ヲ了シ點検察係力毎日工場現場ニ到り就役人夫ノ

出面點檢ヲ爲シテ傭人點檢野帳ニ就役人夫ノ番號日給又ハ課程賃金等

ヲ記載シ之ニ基キ傭人點檢表ニ就役人夫ノ氏名及賃金ヲ記載シ次テ前

敍陽川工場ニ於ケルト同様ノ努力費整理台帳及豫算差引簿ノ整理ヲ了

シタル上五日目毎ニ右點檢表ニ基キ傭人就役表ヲ作成シテ人夫ニ交付

シテ就役票交付表ニ受領人夫ノ捺印ヲ徵シ受領人夫ヘ定メラレタル貨

金立替拂人ニ就役票ヲ交付シ一定手料ヲ支拂ヒテ賃金立替拂ヲ受ケ

立替拂人ハ毎月二回立替拂賃金受領代理人トシテ京城土木出張所ニ對

シ支拂請求ヲ爲シ同出張所ニ於テハ右工場ヨリ毎月二回一日ヨリ十五

日迄及十六日ヨリ月末迄ノ各半月分ノ傭人點檢野帳、右十五日及月末	ニ締切リタル傭人點檢表、右各期間使役シタル人夫數其ノ賃金額及賃	金受領代人等ヲ證明スル旨ノ傭人使役證明書並其ノ人夫種別ニ内容ヲ記載シタル使役傭人報告書等ヲ送付シ來ルヲ以テ之等文書ヲ調査ノ上	其ノ受領代人ニ賃金ノ支拂タ爲シ毎月五日頃迄ニ同工場ヨリ前絞陽川工場ニ於ケルト同様ノ工事功程報告書、同報告書附表及豫算現在表ヲ	京城土木出張所ニ送付スル手續ヲ爲シ尙絞上各文書ハ孰レモ各工事毎ニ作成整理シ居リタルカ前記各工事ハ孰レモ豫算消費額ニ比シ工事功程進捗シ居リタルトコロヨリ被告人金今先及朴聖緒等ト共謀ノ上（朴聖緒ハ昭和十三年七月以後共謀加擔）右各工事ニ付前同様虚無ノ人夫ヲ使役シタルカ如ク裝ヒ前記點檢野帳其ノ他虛偽ノ文書ヲ作成行使シテ京城土木出張所ヨリ金員ヲ還駆取セムコトヲ企テ昭和十三年四月上旬頃ヨリ昭和十四年五月中旬頃迄ノ間前記一山工場ニ於テ先ツ職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ擅ニ被告人金今先、及李聖基、若ハ被告人朴聖緒等職員ヲシテ各工事毎二人夫傭入ノ都度作成スヘキ前絞傭人傭入票ノ用紙ニ虚實不明ノ金吉洙外百二十八名ヲ人夫トシテ傭入シタル旨記載セシメ工場主任欄ニヘ自己ノ檢閱印ヲ押捺シテ虛偽ノ傭人傭入票數百通（別紙第三乃至六表傭人傭入票欄掲記ノ證據後述傭人點檢票ノ虛偽ノ記載部分ニ照應ス）ヲ順次作成シ其ノ都度之等ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使シ置キタル上昭和十三年四月十一日頃ヨリ昭和十四年五月十
---------------------------------	---------------------------------	--	--	---

			朝 鮮 總 督 府
ハ赤附箋ヲ附シタル頁内ノ各人夫欄中職名欄ニ赤○ヲ附シタル欄ナリ			
ヲ順次作成シ其ノ都度之等ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使シ次テ右期間			
内同工場ニ於テ前同様擅ニ被告人金今先等ヲシテ右虚偽ノ點檢表ニ基			
キ其ノ虚偽部分ニ照應セシメ各該當工事ニ關スル同工場名義ノ前敍各			
勞力費整理合帳及豫算差引簿ニ亘り右金額ヲ人夫貸トシテ 費	數百回上		
消シタル如ク順次虚偽ノ記載ヲ爲サシメ（前記各表各該當文書欄掲記			
ノ證據中）其ノ都度之等各帳簿ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使スルト同			
時ニ前同様擅ニ數百回ニ亘り前記李聖基若ヘ被告人朴聖緒等ヲシテ前			
記虚偽ノ點檢表ニ基キ其ノ虚偽部分ニ照應セシメ京城土木出張所名義			
ノ所定就役票用紙ニ前敍虛無ノ人夫氏名就役 月日及二日乃至五日分ノ			

賃金額（一日金十五錢乃至三圓五十錢ノ割合ニテ前記期間内ニ於テハ 計金八千二百九十四圓六十錢）等ヲ記入セシメ工場主任欄ニヘ自己ノ 檢閱印ヲ押捺シテ該人夫カ夫々額面金額ノ賃金ニテ就役シタルコトヲ 證スル旨ノ虛偽ノ就役票計一千四百十四通（前記各 表就役票欄掲記ノ證據）ヲ一回ニ數通又ハ數十通宛作成シ之ト同時ニ 其ノ都度前同様擅ニ職員ヲシテ前記點検表ノ虛偽部分ニ照應セシメ前 敍就役票交付表ニ前記屬無人夫名義ノ印章ヲ押捺シテ工場主任欄ニ自 己ノ檢閱印ヲ押捺シテ就役票ヲ人夫ニ交付シタル旨ノ虛偽ノ文書（前 記各表ノ交付表欄掲記ノ證據但シ其ノ虛偽部分ヘ該交付表中赤附箋ヲ 附シタル頁内ノ人夫番號欄ニ赤〇又赤△若クヘ赤×ヲ附シタル欄ナリ）
朝鮮總督府
ヲ順次作成シ其ノ都度之ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使シタル上昭和十 三年四月十六日頃ヨリ昭和十四年五月中旬頃迄ノ間ニ於テ數百回ニ亘 リ被告人金今先等ヲシテ指定ノ人夫賃立拂人タル京畿道金浦郡金浦 面北邊里三百五十三番地細野定次郎ノ代理人タル同里同番地清水銀松 ヨリ右就役票ト引換ニ其ノ額面金額ヨリ一定手數料ヲ控除シ前記各表 立替金額欄表示ノ如ク計金八千五十五圓十九錢ヲ賃金立拂人名義ノ下ニ 受取ラシムルト共ニ尙右清水銀松力前敍ノ如ク敍上虛偽ノ就役票順面 金額ヲ立替拂賃金トシテ支拂請求ヲ爲シタル際京城土木出張所ヲシテ 之ヲ支拂ヘシムル爲前記期間一山工場ニ於テ三十七回ニ亘り前同様擅 ニ被告人金今先等ヲシテ右虛偽ノ點檢表ニ基キ其ノ虛偽部分ニ照應セ

朝	鮮	總	督	府
夫々前記虛無人夫ニ對スル賃金ヲ眞實工事費トシテ費消シタル旨夫々				
虛偽ノ記載ヲ爲サシメ（前記各表ノ各該文書欄掲記ノ證據中）其ノ				
都度各一通ヲ一山工場ニ備付ケシメ他ノ各一通ヲ一括シテ二十五回ニ				
亘リ東城土木出張所ニ送付セシメテ夫々行使シ而シテ京城土木出張所				
係員ヲシテ絞上傭人點檢表野帳傭人點檢表傭人使役證明書及使役傭人				
報告書ヲ眞正ナル文書ナリト誤信セシメ因テ其ノ頭同出張所ニ於テ二				
十數回ニ亘リ同係員ヲシテ前記各表騙取金額欄表示ノ如ク計金八千二				
百九十四圓六十錢ヲ前記立替拂人ノ代理人タル清水銀松ニ交付セシメ				
テ之ヲ騙取シ				
(三)前記京城土木出張所一山工場主任トシテ工事材料等ノ保管事務ニ從事				

中被告人金今先ト共謀ノ上

(イ) 昭和十三年十月初頃右工場ニ於テ業務上保管中ノ水害防備用火一千

枚ヲ擅ニ京畿道高陽郡松浦面法寧里二百三十八番地金陳德ニ金二千

二十圓ニテ賣却シテ横領シ

(ロ) 同年十一月二十一日頃同工場ニ於テ業務上保管中ノ古鐵七噸砲金百

貫及古針金六十貫ヲ擅ニ京城府東水庫町百四十三番地郭鑑及同府桃

花町四百十九番地ノ士十四番地金光英兩名ニ計金千六十圓ニテ賣却シテ

横領シ

(ハ) 昭和十四年四月二十二日同工場ニ於テ業務上保管中「レール」二十

一本ヲ擅ニ京畿道金浦郡金浦面北邊里百八十八番地古物商金鑑煥ニ

朝鮮總督府

金四百十圓ニテ賣却シテ横領シ

第二、被告人谷口季敏ヘ昭和十四年四月一日京城土木出張所陽川工場二人夫

トシテ採用セラレ昭和十二年五月一日同出張所工場雇(傭人)ヲ命セラ

レ其ノ後ハ同工場ニ於テ事務係主任席トシテ工場主任ヲ補佐シ特ニ豫算

引簿ノ記帳等ノ事務ヲ擔當シ居タルモ昭和十三年四月十二日頃同出張所

櫛島工場詰ト爲リ同年六月一日咸鏡南道治水事務所工場雇ヲ命セラレ昭

和十四年四月一日咸鏡南道履員ヲ拜命シ同道清津治水事務所勤務ヲ命シ

ラレ同年六月十日依頼願免職ト爲リタルモノナルトヨロ右陽川工場ニ於テ

事務係主席トシテ勤務中被告人松添清ト共謀ノ上前記第一ノ(記載)

犯行ヲ爲シ

第三、被告人金今先へ昭和八年一月一日京城土木出張所工場雇フ命セラレ

同出張所金浦工場詰トナリ昭和十二年五月一日同工場カ一山工場ト改稱

セラレタル後モ引續キ同工場ニ於テ勤務シ事務主席トシテ工場主任ヲ補

佐シ特ニ豫算差引簿ノ記載、工事功程報告書ノ作成等ノ事務ヲ擔當シ居

リタルモ昭和十四年五月三十一日免職ト爲リタルモノナルトコロ右一山

工場ニ於テ事務係主席トシテ勤務中被告人松添清ト共謀ノ上前記第一

ノ(一)及(二)記載ノ犯行ヲ爲シ

第四、被告人朴聖緒ハ昭和十二年五月一日ヨリ京城土木出張所一山工場ニ

臨時傭人トシテ届ハレ事務補助ヲ爲シ居リタルカ昭和十四年五月十六日

常夫トナリ同年五月三十日免職ト爲リタルモノナルトコロ右一山工場ニ

朝鮮總督府

勤務中昭和十三年七月以降被告人松添清ト共謀ノ上 前記第一ノ(一)記載

ノ犯行中昭和十三年七月以降ノ犯行（騙取金額計六千六百三十三圓二十

九錢）ヲ爲シ

タルモノニシテ被告人等ノ敍上所爲中各同種ノ所爲ハ孰レモ犯意繼續ニ係

ルモノトス

證據^{シテ}スルニ犯意繼續ノ點ヲ除ク爾餘ノ判示事實ハ被告人等ノ各當公廷

ニ於ケル判示各關係部分ニ付各判示同旨ノ供述證人加來與四郎（京城土木

出張所庶務部長）ノ當公廷ニ於ケル各判示詐欺及業務横領被害事實ニ照應

スル供述及押收ニ係ル別紙目錄記載ノ虛偽文書ノ現存等ヲ綜合シテ之ヲ認

メ得ヘク犯意繼續ノ點ハ被告人等カ各短期間内ニ同種行爲ヲ反覆累行シタ

ル事跡ニ徵シ明カニシテ判示事實ハ其ノ證明十分ナリ

法ニ照スニ被告人四名ノ敍上所爲中公務所若ハ公務員ノ署名又ハ印章アル

虚偽ノ公文書作成ノ點ハ刑法第百五十六條第百五十五條第一項第五十五條

二同行使ノ點ハ同法第百五十八條第一項第百五十六條第百五十五條第一項

第五十五條ニ、訴訟ノ點ハ同法第百四十六條第一項第五十五條ニ各該當ス

ルトコロ虚偽公文書ノ各一括行使ハ孰レモ一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名

ルトコロ虚偽公文書作成同行使及訴訟ノ間ニハ順次手段結果ノ

關係アルヲ以テ同法第五十四條第一項前段後第十條ニ則リ結局最モ重キ

虚偽公文書行使罪ノ刑ニ從ヒ被告人谷口季敏及朴聖緒ニ對シテハ其ノ所定

刑期範圍内ニ於テ主文掲記ノ如ク處斷スヘタ被告人松添清及金今先ノ業務

朝鮮總督府

横領ノ點ハ同法第二百五十三條第五十五條ニ該當スルトコロ之上右虚偽公文書

行使トハ同法第四十五條前段ノ併合罪ナルヲ以テ同法第四十七條第十條ニ

從ヒ重キ虚偽公文書行使罪ノ刑ニ法定ノ加重ヲ爲シタル刑期範圍内ニ於テ

右被告人兩名ヲ主文掲記ノ如ク處斷スヘタ尙同法第二十一條ニ則リ被告人

四名ニ對シ夫々主文掲記ノ如ク各決勾留日數ヲ右各本刑ニ算入シ押收ニ係ル別

紙目跡記載ノ各虛偽文書ハ被告人等ノ各判示虛偽公文書作成罪ヨリ生シタル

ル物ニシテ犯人以外ノ者ニ屬セサルヲ以テ同法第十九條第一項第三號第一

項ニ則リ夫々主文掲記ノ如ク各被告人等ニ對シ之ヲ沒收スヘタ訴訟費用ニ

付テハ刑事訴訟^本報^付第二百三十七條^本第一項^付第二百三十八條^本則リ夫々主文掲記ノ

如ク各被告人等ヲシテ負擔セシムヘキモノトス

仍テ主文ノ如ク判決ス

昭和十六年七月七日

京城地方法院刑事第一部

裁判長朝鮮總督府判事

藤間忠顯

朝鮮總督府刑事

入谷規

朝鮮總督府刑事

原田一隆

右謄本也

昭和十六年七月二十二日

東城地方法院

朝鮮總督府裁判所書記

二宮惠行

朝鮮總督府

研-0445

0441

第一表 二山浦下流護岸追加工事用石材採取運搬工事一観又八分

虚偽文書欄ニ點トアルハ點検表、勞トアルハ労力費整理台帳、豫トアルハ豫算差引簿、就トアルハ就役票、使トアル

八使役證明書、工トアルハ工事功程報告、附トアルハ同報
告書附表豫算トアルハ豫算現在表ノ略

同様ノアラビヤ數字、

シトアルハ「同右」

8442

研-0445

第二表

第三表 中面護岸及水制工事ニ關スル分

第四表 一山撃補強工事ニ關スル分

第五表 二山補下流護岸追加工事ニ關スル分

第六表 金浦第十一護岸工事ニ關スル分

備考 「虚偽文書欄ニ備トアルヘ傭人傭入票、野トアルヘ傭人點検野帳、點アカルヘ點検表、就トアルヘ就役票、交トアルヘ就役トアルヘ豫算差引簿、就トアルヘ就役票、交トアルヘ就役票交付表、使トアルヘ使役證明書、役トアルヘ使役傭人報告、工トアルヘ工事功程報告書及同附表並ニ豫算現在表ノ略

朝 鮮 總 督 府

「同欄ノアラビヤ數字ハ證據番號(例ヘ¹⁶トアルヘ證第十六

「トアルヘ「同右」」ノ略號

第三表

番	幽	靈	人	夫	虛	偽	文	書
一 就役シタル 日 コトトセルル 年時 至月 自和十五年 日	就役シタル 日 コトトセルル 年時 至月 自和十五年 日	夫同						
二 外金吉深 名善	外金吉深 名善	夫同	同同數					
三 計 日	計 日	八〇	八〇	高	高	貨金	一人前	
四 一〇	一一〇	八〇	八〇	低	低	金	立替金額	
五 一一〇	一一〇	八〇	八〇	二	二	元	騙取金額	
六 一一六	一一六	一一六	一一六	二二	二二	元	一〇	備
七 一六(4)	一六(4)	一六(4)	一六(4)	二〇(1)	二〇(1)	元	一〇	野
八 二〇(2)	二〇(2)	二〇(2)	二〇(2)	八七	八七	元	八七	點
九 八	八	八	八	八二	八二	元	八二	勞
十 八	八	八	八	八一	八一	元	八一	豫
十一 二五	二五	二五	二五	二五	二五	元	二五	就
十二 二四(2)	二四(2)	二四(2)	二四(2)	二四(1)	二四(1)	元	二四(1)	亦使役
十三 八	八	八	八	八	八	元	八	不使役
十四 七	七	七	七	七	七	元	七	七

研-0445

0447

朝鮮總督府

合計	
米	四百四十石
酒	四百四十石
鹽	一百三十石
油	二十石
茶	一石

第五表	
年	月
昭和二十一年五月	就役シタル日
外任率名	夫同人數
一八六	同同數
低木二五	賃金額
八四七	立替金額
二二三	駆取金額
七〇〇	一三三
X20	一三三
5	備
13	野
17	點
86	勞
62	豫
25	就
2	交
78	使
ナシ	役
73	工

第六表

番號	幽靈人夫
就役シタル日	就役シタル日
外社同人數人	外社同人數人
同居賃一人前金	同居賃一人前金
立替金額	立替金額
駆取金額	駆取金額
脩	脩
文書	文書
財	財

番號	幽靈人夫
至昭和十三年十月十六日	至昭和十三年十月十六日
外社同人數人	外社同人數人
同居賃一人前金	同居賃一人前金
立替金額	立替金額
駆取金額	駆取金額
脩	脩
文書	文書
財	財

番號	幽靈人夫
就役シタル日	就役シタル日
外社同人數人	外社同人數人
同居賃一人前金	同居賃一人前金
立替金額	立替金額
駆取金額	駆取金額
脩	脩
文書	文書
財	財

昭和十五年刑私第一號

判決

國

右代表者朝鮮總督

南

次郎

右指定代表者朝鮮總督府土木事務官

加來

興四郎

本籍 長崎縣西彼杵郡雪浦村字上郷二百二番地

住居 不定 現在西大門刑務所在監中

松添清

朝鮮總督府

本籍 朝鮮道金浦郡金浦面北邊里三百五十六番地
住居 同所 現在西大門刑務所在監中

被告 金今先

本籍 朝鮮道八代郡上松求職村字荒瀬千二百八番地

住居 不定 現在西大門刑務所在監中

被告 谷口季敏

本籍 朝鮮道金浦郡陽村面櫻山里六百十六番地
住居 同所 現在西大門刑務所在監中

被告 朴聖緒

石富華者間ノ被告人松添清及金今先ニ對スル公文書偽造行使詐欺業務横領、被

告人谷口季敏及朴聖緒ニ對スル公文書偽造行使詐欺被告事件ニ附帶スル損害金

訴訟判決書

職員公文書偽造行使詐欺業者
横領事件、辻元松林判決書

0453

研-0445

請求事件ニ付判決スルコト左ノ如シ

主 文

被告松添清及谷口季敏ハ連帶シテ原告ニ對シ金三千四百十一圓七十七

銭及之ニ對スル昭和十五年十二月八日以降元清ニ至ル迄年五分ノ割合

ニ依ル金員ヲ支拂フヘシ

被告松添清及金今先ハ連帶シテ原告ニ對シ金三十三百五十一圓三十「銭」

及之ニ對スル昭和十五年十二月八日以降元清ニ至ル迄年五分ノ割合ニ依

ル金員ヲ支拂フヘシ

被告松添清、金今先及朴聖福ハ連帶シテ原告ニ對シ金六千六百三十三圓

「十九銭及之ニ對スル昭和十五年十二月八日以降元清ニ至ル迄年五分ノ

割合ニ依ル金員ヲ支拂フヘシ

私訴費用ハ被告等ノ負担トス

事 實

原告指定代表者ハ主文同旨ノ判決ヲ求メ請求原因トシテ

第一、被告松添清ハ昭和十一年一月二十日朝鮮總督府技手ヲ任命シ同年六

月十一日同府内務局京城土木出張所勤務ヲ命セラレ昭和十二年四月二十

八日同出張所陽川工場主任ト爲リ次テ昭和十三年一月十五日同出張所一

山工場主任ニ轉シ昭和十四年七月十四日休職ト爲リタルモノナルトコロ

(イ)石京城上木出張所陽川工場主任トシテ同出張長ノ命ニヨリ同工場ニ於

ケル石出張所直營工場タルニ山浦下流護岸邊加工專用石材並申請屋

及水制工事用石材ノ各採取運搬工事等施行ノ責ニ任シ之カ爲人夫傭入
及就役人夫ニ交付スル就役票（賃金傳票）等文書ノ作成保管其ノ他工
場内ノ一切ノ事項ヲ監理中右工場ニ於テハ人夫ニ對シ直接賃金ノ支拂
ヲ爲サス點検査察係ニ於テ毎日工事現場ニ到リ就役人夫ノ出面點檢ヲ
爲シ傭人點檢表ニ就役人夫ノ氏名ヲ記載スル代ヘ人夫ノ捺印ヲ徵シ之
一日給又ハ課程賃金ヲ記載シ次テ努力費整理臺帳ニ人夫種別（例ヘハ
石工坑夫鍛冶工等）ニ集計シタル出面數及賃金額ヲ記載シ之ヲ工事費
トシテ賃消シタル自記載シ更ニ之ヲ豫算差引簿ニ工種細目別ニ努力費
トシテ計上シテ差引豫算現在高ヲ明瞭ナラシムルト共ニ右點檢表ニ基
キ人夫氏名就役月日及賃金額等ヲ表示スル就役票ヲ作成シ人夫ニ交付
朝 鮮 總 督 府
シ受領人夫ハ定メラレタル賃金立替拂入ニ就役票ヲ交付シ一定半數料
ヲ支拂ヒテ賞金立替拂ヲ受ケ立替拂入ハ毎月二回立替拂賞金ヲ賞金受
領代人トシテ京城土木出張所ニ對シ支拂請求ヲ爲シ同出張所ニ於テハ
同工場ヨリ二日目若ヘ三日目每ニ前記點檢表ヲ毎月分ノ使用人夫別出
面數及賞金額等ヲ集計記載シタル傭人便役證明書ヲ各送付シ來ルヲ以
テ請求ノ都度之等文書ヲ調査ノ上右受領代人ニ賞金支拂ヲ爲シ毎月五
日頃迄ニハ同工場ヨリ前月ニ於ケル工事ノ設計高タル數量及金額ニ對
スル製成高タル數量及賃消金額等ヲ比較シ工事進捗程度（出來形ノ歩
合）ヲ記載シタル工事功程報告書其ノ努力費ノ細別ヲ表示シタル同報告
書附表及前記豫算引簿ニ基キ作成シタル豫算現在表等ヲ京城土木出張

所ニ送付スル手續ヲ爲シ居リ尙敍上各文書ハ執レモ各工事毎ニ作成整
理シ居リタルカ前記各工事ハ執レモ豫算消費額ニ比シ工事功程進捗シ
居リタルトコロヨリ被告谷口季敏ト共謀ノ上右各工事ニ付虛無ノ人夫
ノ使役シタルカ如ク裝ヒ前記點檢表其ノ他虛偽ノ文書ヲ作成行使シテ
京城土木出張所ヨリ金員ヲ騙取セムコトヲ企テ昭和十二年六月十日頃
リ同年十二月三十一日頃迄ノ間前記陽川工場ニ於テ先ツ職務ニ關シ行
使ノ目的ヲ以テ復ニ事務係主席タル被告谷口季敏(工場魔)、記帳係
タル金鍾高(常夫)等職員ヲシテ毎日各工事毎各工種別ニ作成スヘキ
前敍偽人點檢表ニ虚實不明ノ申仁得外九十六名延人員二千六百九十一
名石工坑夫本頭等人夫トシテ一日數人又ハ數十人宛一人前賃金十二
時 給 驗 督 計
錢乃至三圓三十六錢前記期間内ニ於テハ賃金計金三千四百十一圓七十
七錢ニテ使役シタル如ク虛偽ノ記載ヲ爲サシメ工場主任欄ニハ自己ノ
檢閱印ヲ押捺シテ虛偽ノ偽人點檢表ニ通宛計數百通ヲ順次作成シ其ノ
都度内一通ヲ同工場ニ備付ケ他ノ一通ヲ京城土木出張所ニ送付シテ夫
々行使シ次テ右期間内同工場ニ於テ前同標榜ニ被告谷口季敏及金鍾高
ヲシテ右虛偽ノ點檢表ニ基キ各該當工事ニ關スル同工場名義ノ前敍各
勞力費整理臺帳及各核算差引簿ニ夫々數百回ニ亘リ前記虛無ノ人夫資
金ヲ人夫ニ對スル貢金トシテ眞實費消シタル如ク順次虛偽ノ記載ヲ爲
サシメ其ノ都度之等帳簿ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使スルト同時ニ前
同標榜ニ前記金鍾高等ヲシテ前記虛偽ノ點檢表ニ基キ京城土木出張所

名義ノ就役票用紙ニ前敍虚實不明ノ人夫氏名就役月日及賃金額（金十 二錢乃至三圓三十六錢前記期間内ニ於テハ計金三千四百十一圓七十七 既）等ヲ記入セシメ工場主任欄ニヘ自己ノ檢閱印ヲ押捺シテ該人夫力 夫々額面金額ノ實金ニテ就役シタルコトヲ證スル旨ノ虛偽ノ就役票ニ 千六百九十一通ヲ一回ニ數通又ハ數十通宛數百回ニ亘リ順次作成シ其ノ 都度被告谷口李敏等職員ヲシテ指定人夫實金立替拂人タル京畿道金 浦郡勝東面加陽里二百二十五番地金陵熙ノ代理人タル同里同番地金在 戊ヨリ右就役票ト引換ニ其ノ額面金額ヨリ一定手數料ヲ控除シテ計金 三千三百十八圓九錢ヲ實金立替拂名義ノ下ニ數百回ニ亘リ受取ラシム ルト共ニ右金在成力前敍ノ如ク綴上虛偽ノ就役票額面額ヲ立替拂實
朝鮮總督府
金トシテ文拂請求ヲ爲シタル際京城土木出張所ヲシテ之ヲ支拂ハシム ル爲昭和十二年六月十六日頃ヨリ昭和十三年一月初旬頃迄ノ間勝川工 場ニ於テ十五回ニ亘リ前同標識ニ被告谷口李敏等職員ヲシテ毎月二回 各工事毎ニ作成スヘキ工場主任松添清名義ノ前敍拂人使役證明ニ前敍 處無ノ人天ヲ異質使役シタルコトヲ證スル旨ノ記載ヲ爲サシメテ虛偽 ノ該證明書三通乃至四通宛ヲ順次作成シ一通ヲ同工場ニ備付ケシメ他 二通又ヘ三通ヲ同出張所ニ送付セシメテ夫々行使シ更ニ昭和十二年七 月初旬頃ヨリ昭和十三年一月初旬頃迄ノ間勝川工場ニ於テ十五回ニ亘 リ前同標識ニ被告谷口李敏等ヲシテ毎月五日各工事毎ニ作成スヘキ工 場主任松添清名義ノ前敍工事功程報告、同報告書附表及核算現在表ニ
0457

夫々前敍金額ヲ工事費トシテ費消シタル旨記載セシメテ虛偽ノ右各文

費各二通宛ヲ順次作成シ其ノ都度各一通ヲ陽川工場ニ備付ケシメ各一

通ヲ同出張所ニ一括シテ送付セシメテ夫々行使シ而シテ京城土木出張所

係員ヲシテ敍上傭人使役證明書ヲ真正ナル文書ナリト誤信セシメ因

テ其ノ與同出張所ニ於テ十數回ニ亘リ同係員ヲシテ計金三千四百十一

圓七十七錢ヲ前記立替拂人ノ代理人タル金在成ニ交付セシメテ之ヲ驗

(乙)取シ

(一)京城土木出張所一山工場主任トシテ同山張切長ノ命ニ依リ同工場ニ於

ケル同出張所直營渙江改修工事タル中面護岸及水制工事、一山堤補強

工事、一山浦下流護岸追加工事並金浦第十一護岸工事等施行ノ責ニ任

朝鮮總督府

シ之カ爲人夫ノ傭入、就役人夫ニ交付スル就役票等文書ノ作成保管其

ノ他工場内ノ一切ノ事項ヲ監理中同工場ニ於ケル人夫就役票ノ作成其

ノ他事務取扱手續ハ同出張所工場事務取扱手續更正後ニ屬スルヲ以テ

前敍陽川工場ニ於ケルト幾分其ノ取扱手續ヲ異ニシ先ツ人夫傭入ヲ爲

スニ當リ傭入票ニ傭入人夫ノ本籍住居年齢氏名賃金其ノ者ニ與ヘ

タル人夫番號等ヲ記載シ其ノ者ノ捺印ヲ徵シ工場主任ニ於テ檢閱印ヲ

押捺シテ傭入手續ヲ了シ點検査察係カ毎日工事現場ニ到リ就役人夫ノ

出頭點檢ヲ爲シテ傭人點檢野帳ニ就役人夫ノ番號歸給又ヘ課程賃金等

ノ記載之墨キ傭人點檢表ニ就役人夫ノ氏名及賃金ヲ記載シ次テ前敍陽

川工場ニ於ケルト同様ノ勞力費整理臺帳及豫算差引簿ノ整頓ヲ了シタ

川工場ニ於ケルト同様ノ勞力費整理臺帳及豫算差引簿ノ整頓ヲ了シタ

ル上五日毎ニ右點檢表ニ基キ傭人就役票ヲ作成シテ人夫ニ交付シテ	
就役票交付表ニ受領人夫ノ捺印ヲ徵シ受領人夫ヘ定メラレタル質金立	
替拂人ニ就役票ヲ交付シ一定手數料ヲ支拂ヒテ質金立替拂ヲ受ケ立替	
拂人ヘ毎月二回立替拂質金受領代人トシテ京城土木出張所ニ對シ支拂	
請求ヲ爲シ同出張所ニ於テヘ右工場ヨリ毎月二回一日ヨリ十五日迄及	
十六日ヨリ月末迄ノ各半月分ノ拂人點檢野帳、右十五日及月末ニ締切	
リタル拂人點檢表、右各期間使役シタル人夫數其ノ質金額及質金受領	
代人等ヲ證明スル旨ノ拂人便役證明書並其ノ人天種別ニ内容ヲ記載シ	
タル使役傭人報告書等ヲ送付シ來ルヲ以テ之等文書ヲ調査ノ上其ノ受	
領代人ニ質金ノ支拂ヲ爲シ毎月五日頃迄ニ同工場ヨリ前敍陽川工場ニ	
<p style="text-align: center;">朝鮮總督</p> <hr/>	
於ケルト同様ノ工事功程報告書、同報告書附表及豫算現在表ヲ呈示	
木出張所ニ送付スル字帳ヲ爲シ同敍上各文書ハ執レモ各工事毎ニ作成	
盤繩シ居リタルカ前記各工事ハ執レモ豫算消費等ニ比シ工事功程進歩	
シ居リタルトコロヨリ被告金今先及同朴聖緒ト共謀ノ上（朴聖緒ハ	
昭和十三年七月以後共謀加擔）右各工事ニ付前同様虛無ノ人夫ヲ使役	
シタルカ如ク表ヒ前記點檢野帳其ノ龍頭偽ノ文書ヲ作成行使シテ原城	
土木出張所ヨリ金員ヲ騙取セムコトヲ企テ昭和十三年四月上旬頃ヨリ	
昭和十四年五月中旬頃迄ノ間前記一山工場ニ於テ先ツ職務ニ論シ行使	
ノ目的ヲ以テ懷ニ被告金今先李基若久被告朴聖緒等職員ヲシテ各工	
事每二人夫拂入ノ都度作成スヘキ前敍傭人拂入票ノ用紙ニ虚實不明ノ	

金吉洙外百一十八名ヲ人夫トシテ傭入レタル旨記載セシメ工場主任欄ニ	
ヘ自己ノ檢閱印ヲ押捺シテ虛偽ノ傭入傭入票數百通ヲ順次作成シ其ノ都	度之等ヲ同工場ニ備付ケシメ行使シ置キタル上昭和十三年四月十一日頃
ヨリ昭和十四年五月十五日頃迄ノ間同工場ニ於テ前同様ニ季吉基若久被	告朴聖祐等職員ヲシテ毎日各工事毎工種別ニ作成スヘキ前級傭人點檢野
帳及各工事毎ニ作成スヘキ傭人點檢表ニ夫々右金吉洙外百一十八名延人	員九千百九十六名ヲ土造搬工、張石工等人夫トシテ一日數人又ハ數十人
宛一人賃金十五錢乃至三圓五十錢右期間内ニ於テハ賃金計金八千二見九十	四圓六十錢ニテ使役シタル如ク虛偽ノ記載ヲ爲サシメ工場主任欄ニ自己
檢閱印ヲ押捺シテ夫々數百回重り虛偽ノ點檢野帳及點檢表各數百通ヲ順次作	成シ其ノ都度之等ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使シ次テ右期間内同工場ニ
於テ前同様覆ニ被告金今先等ヲシテ右虛偽ノ點檢表ニ達キ各該當工事ニ	關スル同工場名義ノ前級各努力費整理臺帳及核算差引簿ニ數百回ニ亘リ
右金額ヲ人夫賃トシテ費消シタル如ク順次虛偽ノ記載ヲ爲サシメ真ノ都	度之等各帳簿ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使スルト同時ニ前同様覆ニ數百
回ニ亘リ前記季吉基若久ハ被告朴聖祐等ヲシテ前記虛偽ノ點檢表ニ基キ原城	土木出張所名義ノ所定就役票用紙ニ前級虛偽ノ點檢表ニ基キ原城
乃至五日分ノ賃金額（一日金十五錢乃至三圓五十錢ノ割合ニテ前記期間	内ニ於テハ計金八千二百九十四圓六十錢）等ヲ記入セシメ工場主任欄ニ
ヘ自己ノ檢閱印ヲ押捺シテ該人夫カ夫々額面金額ノ賃金ニテ就役シタル	

コトヲ證スル旨ノ虛偽ノ就役票計一千四百十四通ヲ一回ニ敷通又ハ數
十通宛作成シ之ト同時ニ其ノ都度前同様權職員ヲシテ前絞就役票交換表
ニ前記虛無人夫名義ノ印章ヲ押捺シ工場主任欄ニ自己ノ檢閱印ヲ押捺
シテ就役票ヲ人夫ニ交付シタル旨ノ虛偽ノ文書ヲ順次作成シ其ヲ都度之
ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使シタル上昭和十三年四月十六日頃ヨリ昭
和十四年五月中旬頃迄ノ間ニ於テ數百回ニ亘リ被告金今先等ヲシテ指
定人夫實立替拂人タ兼鐵道金浦郡金浦面北邊里三百五十三番地細野定次
郎ノ代理人タル同里同番地清水銀松ヨリ右就役票ト引換ニ其ノ額面金
額リ一定手數料ヲ控除計金八千五十五圓十九錢ヲ立替拂名^義ト^トニ受
取ラシムルト共ニ右清水銀松カ前絞ノ如ク絞上虛偽ノ就役票額面金額

朝 鮮 總 督 府

ヲ立替拂實金トシテ支拂請求ヲ爲シタル際京城土木出張所ヲシテ之ヲ
支拂ヘシムル爲前記期間一山工場ニ於テ三十七回ニ亘リ前同様權ニ被
告金今先等ヲシテ孰レモ各工事毎ニ毎月二回各三通宛作成スヘキ一山
工場主任松添清名義ノ前絞權人行使證明書及行使權人報告書ニ夫々前
絞虛無ノ人夫ヲ行使シタルコトヲ證スル旨順次虛偽ノ記載ヲ爲サシメ
其ノ都度各一通ヲ一山工場ニ備付ケシメ他ノ各二通ヲ之ト各半月分ノ
前絞虛偽ノ點檢野帳及點檢表ト一括シテ二十五回ニ亘リ京城土木出張
所ニ送付セシメテ夫々行使シ更ニ昭和十三年五月上旬頃ヨリ昭和十四
年六月上旬頃迄ノ間一山工場ニ於テ三十七回ニ亘リ前同様權ニ被告金
今先ヲシテ孰レモ各工事毎ニ毎月五日作成スヘキ一山工場主任松添清

名義ノ前綱工事功程報告書、同報告書附表及豫算現在表ニ夫々前記廻

無人夫ニ對スル賃金ヲ實質工事費トシテ費消シタル旨夫々虛偽ノ記載

ヲ爲サシメ其ノ都度各一通ヲ一山工場ニ備付ケシメ他ノ各一通ヲ一括

シテ二十五回ニ亘リ京城土木出張所ニ送付セシメテ夫々行使シ而シテ

京城土木出張所係員ヲシテ絞上備人點檢野帳備人點檢表備人使役證明
書及使役備人報告書ヲ眞正ナル文書ナリト誤信セシメ因爾其ノ與同出

張所ニ於テ二十數回ニ亘リ同係員ヲシテ計金八千二百九十四圓六十錢

ヲ前記立替拂人ノ代理人タル清水銀松ニ交付セシメテ之ヲ騙取シ

(三)前記京城土木出張所一山工場主任トシテ工事材料等ノ保管奉務ニ從事
中被告金今先ト共謀ノ上

朝鮮總督府

(1)昭和十三年十月初頃右工場ニ於テ業務上保管中ノ水害防備用貯二千

枚ヲ懷ニ京畿道高陽郡松浦面法串里二百三十八番地金陳德ニ金二百

二十圓ニテ賣却シテ横領シ

(2)同年十一月二十一日頃同工場ニ於テ業務上保管中ノ古鐵七頓總金百
貫及古銅金六十貫ヲ懷ニ京城府東水原町百四十三番地郭壽龍及同府

桃花町四百十九番地ノ七十四金光英兩名計金一千六十圓ヲ賣却シ

テ横領シ

(3)昭和十四年四月二十二日同工場ニ於テ業務上保管中ノ古「レール」
二十一本ヲ懷ニ京畿道金浦郡金浦面北邊里百八十八番地古物商金鍾

燃ニ金四百十圓ニテ賣却シテ横領シ

第一、被告谷口季敏ハ昭和十年四月一日京城土木出張所陽川工場二人夫ト シテ採用セラレ昭和十二年五月一日同出張所工場雇(傭人)ヲ命セラ レ其ノ後ヘ同工場ニ於テ事務係主席トシテ工場主任ヲ補佐シ特ニ豫算 差引簿ノ記帳等ノ事務ヲ擔當シ居タルモ昭和十三年四月十一日頃同出 張所陽川工場詰ト爲リ同年六月一日咸鏡南道治水事務所工場雇ヲ命セ ラレ昭和十四年四月一日咸鏡南道屬員ヲ拜命シ同道清津治水事務所勤 務ヲ命セラレ同年六月十日依願免職ト爲リタルモノナルトコロ右陽川 工場ニ於テ事務係主席トシテ勤務中被告松添清ト共謀ノ上前記第一ノ(一) 記載ノ犯行ヲ爲シ
第三、被告金今先ハ昭和八年一月一日京城土木出張所工場雇ヲ命セラレ同出 張所金浦工場詰ト爲リ昭和十二年五月一日同工場カ一山工場ト改稱セ ラレタル後モ引續キ同工場ニ於テ勤務シ事務主席トシテ工場主任ヲ補佐シ 特ニ豫算差引簿ノ記載、工事功程報告書ノ作成等ノ事務ヲ擔當シ居タル モ昭和十四年五月三十一日免職ト爲リタルモノナルトコロ右一山工場ニ於 テ事務係主席トシテ勤務中被告松添清及同朴聖祐ト共謀ノ上朴聖祐ハ昭 和十三年七月以後共謀加擔前記第一ノ(二)記載ノ犯行ヲ爲シ尙被告松添清 トナリ同年五月三十日免職ト爲リタルモノナルトコロ右一山工場ニ勤務
ト共謀ノ上前記第一ノ(三)記載ノ犯行ヲ爲シ
第四、被告朴聖祐ハ昭和十二年五月一日ヨリ京城土木出張所一山工場ニ臨時 傭人トシテ屬ヘレ事務補助ヲ爲シ居タルカ昭和十四年五月十六日常夫

中昭和十三年七月頃以降被告松添清ト共謀ノ上記第一ノ(記載ノ犯行

中昭和十三年七月以降ノ犯行(騙取金額計六千六百三十三圓二十九錢)

ヲ爲シ

タルモノニシテ

原告ハ被告松添清及同谷口季敏ノ請求原因第一ノ()ノ犯行ニ依リ計金三千四百十一圓七十七錢、被告松添清及同金今先ノ同第一ノ()ノ昭和十三年六月以前ノ犯行ニ依リ計金千六百六十一圓三十一錢、被告松添清同金今先及朴聖緒

ノ同第一ノ()ノ昭和十三年七月以後ノ犯行ニ依リ計金六千六百三十三圓二十九錢、被告松添清及同金今先ノ同第一ノ(記載)ノ犯行ニ依リ計金千六百九

十圓ノ各損害ヲ加ヘラレタルヲ以テ被告松添清及同谷口季敏ニ對シ連帶シテ

朝鮮總督府

右金三千四百十一圓七十七錢及之ニ對スル本件私訴狀送達ノ翌日タル昭和十五年十二月八日以降完済迄年五分ノ遲延損害金ノ支拂ヲ求ムル爲、被告松添

清及金今先ニ對シ連帶シテ右金千六百六十一圓三十一錢及右金千六百九十一圓以上合計金 三千三百五十一圓三十一錢及之ニ對スル前同様遲延損害金ノ支

拂ヲ求ムル爲、被告松添清同金今先及同朴聖緒ニ對シ連帶シテ右金六千六百三十三圓二十九錢及之ニ對スル前同様ノ遲延損害金ノ支拂ヲ求ムル爲本訴請

求ニ及ヒタリト陳述シ立證トシテ本件公訴記錄及押收各物件ヲ援用シ被告等ハ執レモ原告請求通ノ判決果メ其ノ關係部分ニ付原告主張事實全部ヲ認

メタリ

理由

仍テ接スルニ原告主張ノ請求原因タル事實ヘ本件公訴判決摘要ノ各證據

ニ依リ本件私訴狀カ被告等ニ送達サレタルハ昭和十五年十一月七日ナルコ

トヘ本件記錄編綴ノ送達報告書記載ニ依リ孰レモ之ヲ認メ得ヘキ以テ原告

ノ本訴請求ヘ正當トシテ之ヲ認容スヘク私訴費用ヘ刑事訴訟法第五百七十

二條民事訴訟法第八十九條第九十三條第一項本文ニ則リ主文ノ如ク判決ス

昭和十六年七月七日

東城地方法院刑事第一部

裁判長朝鮮總督府判事藤間忠綱

朝鮮總督府判事入谷親一

朝鮮總督府

昭和十六年七月
日

東城地方法院

朝鮮總督府判事原田一監

0465

研-0445

私訴狀

民事原告 國

右代表者 朝鮮總督 南次郎

右指定代表官吏 朝鮮總督府土木事務官

加來與四郎

本籍 長崎縣西彼杵郡雪浦村字上郷二百二番地

住所不定

現 在 西大門刑務所在監

被告

松添清

朝鮮總督府

京畿道金浦郡金浦面北邊里三百五十六番地

現在 西大門刑務所在監

被告 金今先

本籍 熊本縣八代郡上松求麻村字荒瀬千二百

八番地

住所不定

現 在 西大門刑務所在監

被告 谷口季敏

本籍 京畿道金浦郡陽村面樓山里六百十六番地

現在 西大門刑務所在監

被告 朴 麟 緒

右松添清、金今先ニ對スル公文書偽造行使詐欺及業務横領、各回季敏、朴璵緒ニ對スル公文書偽造行使及詐欺事件ニ因ル損害金請求ノ訴

請求ノ趣旨

(一)被告松添清、同谷口季敏ハ連帶シテ原告ニ對シ金參千四百拾壹圓七拾七錢及之ニ對シ私訴状送達ノ翌日ヨリ完納ニ至ル迄年貳分ノ割合ニ相當スル利子ヲ支拂フベシ

朝鮮總督府

圓參拾壹錢及之ニ對シ私訴状送達ノ翌日ヨリ完納ニ至ル迄年貳分ノ割合ニ相當スル利子ヲ支拂フベシ

(二)被告松添清、同金今先、同朴璵緒ハ連帶シテ原告ニ對シ金六千六百參拾參圓貳拾九錢及之ニ對シ私訴状送達ノ翌日ヨリ完納ニ至ル迄年五分ノ割合ニ相當スル利子ヲ支拂フベシ

訴訟費用ハ各被告ノ負擔トス

トノ判決ヲ求ム

請求ノ原因

第一、被告人松添清ハ昭和十一年一月二十日朝鮮總督府技手ヲ仰
命同年六月十一日同府内務局京城土木出張所勤務ヲ命セラレ

昭和十二年四月二十八日同出張所陽川工場主任ト爲リ次テ昭和十三年一月十五日同出張所一山工場主任ニ轉シ昭和十四年七月十四日休職ト爲リタルモノナル處

(一)右京城土木出張所陽川工場主任トシテ同出張所長ノ命ニヨリ同工場ニ於ケル右出張所直營工事タル二山浦下流護岸追加工事用石材並中面護岸及水制工事用石材ノ各採取運搬工事等施行ノ責ニ任シ之力爲人夫傭入及就役人夫ニ交付スル就役票一賃金傳票一等文書ノ作成保管其他工場内ノ一切ノ事項ヲ監理中右工場ニ於テハ人夫ニ對シ直接賃金ノ支拂ヲ爲サヌ點検査察係ニ於テ毎日工事現場ニ到リ就役人夫ノ出面點検ヲ爲シ備

朝鮮總督府

人點檢表ニ就役人夫ノ氏名ヲ記載スルニ代ヘ人夫ノ捺印ヲ微シ之ニ日給又ヘ課程賃金ヲ記載シ次テ努力費整理台帳ニ人夫種別(例へハ石工坑夫銀治工等)ニ集計シタル出面數及賃金額ヲ記載シ之ヲ工事費トシテ費消シタル旨記載シ更ニ之ヲ豫算差引簿ニ工種細目別ニ努力費トシテ計上シテ差引豫算現在高ヲ明瞭ナラシムルト共ニ右點檢表ニ基キ人夫氏名就役月日及賃金額等ヲ表示スル就役票ヲ作成シ人夫ニ交付シ受領人夫ハ定メラレタル賃金立替拂人ニ就役票ヲ交付シ一定手數料ヲ支拂ヒテ賃金立替拂ヲ受ケ立替拂人ハ毎月二回立替拂賃金ヲ賃金受領代人トシテ京城土木出張所ニ對シ支拂請求ヲ爲シ同

出張所ニ於テハ同工場ヨリ二日目若ハ三日目毎ニ前記點検表
 每月二回半分ノ使用人夫別出面數及賃金額等ヲ集計記載シ
 タル備人使役證明書ヲ送付シ來ルヲ以テ請求ノ都度龜等文書
 ヲ調査ノ上右受領代人ニ賃金支拂ヲ爲シ毎月五日頃迄ニハ同
 工場ヨリ前月ニ於ケル工事ノ設計高タル數量及金額ニ對スル
 計成高タル數量及費消金額等ヲ比較シ工事進捗程度ヘ出來形
 ノ歩合）ヲ記載シタル工事功程報告書其ノ労力費ノ細別ヲ表
 示シタル回報告書附表及前記豫算差引額ニ基キ作成シタル豫
 算現在表等ヲ京城土木出張所ニ送付スル手續ヲ爲シ居リ尙致
 上各文書ハ執レモ各工事毎ニ作成整理シ居リタルカ前記各工

— 朝 鮮 總 督 府 —

事ハ執レモ石材採取人夫中石工賃金力課程（出來高）拂ニシ
 テ雜割石經三十塊内外ノモノ一立方米ヲ單位トシ該一立方米
 ハ經三十塊モノ二十六個ナルニ石工ニ對シテハ三十個ヲ以テ
 一立方米トシテ檢收シ居タル爲之ニ因テ生スル餘剩一立方米
 ヲ付四個及發破ノ際生ヌル散落スル石塊等自然生產
 ノ石材少ナカラス其ノ他一般ニ豫算消費額ニ比シ工事功程進
 押シ居リタルトコロヨリ相被告人谷口季敏ト共謀ノ上右各工
 事ニ付右自然生產ノ石材ヲ眞正石工及之ニ配スル普通人夫ニ
 依リ生產シタル如ク爲標等虛無ノ人夫ヲ使役シタルカ如ク裝
 ヒ前記就役票其ノ他虛偽ノ文書ヲ作成行使シテ人夫賃金立替

拝名義ノ下ニ立替拂人ヨリ金員ヲ騙取セムコトヲ企テ昭和十二年六月十日頃ヨリ同年十二月三十一日頃迄ノ間前記陽川工場ニ於テ先フ職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ壇ニ事務係主席タル相被告人谷口季敏（工場履）・記帳係タル金鍾尚（常夫）等職員ヲシナ毎日各工事毎各工種別ニ作成スヘキ前敍傭人點檢表ニ別紙第一、二表幽靈人夫欄表示ノ如ク虚實不明ノ申仁得外九十六名延人員二千六百九十一名ヲ石工坑夫憲頭等人夫トシテ一日數人又ハ數十人宛一人前賃金十二錢乃至三圓三十六錢前記期間内ニ於テハ賃金計金三千四百十一圓七十七錢ニテ使役シタル如ク虛偽ノ記載ヲ爲サシメ工場主任欄ニハ自己

朝鮮總督府

ノ檢閱印ヲ押捺シア虛偽ノ傭人點檢表ニ通宛計數百通（別紙第一、二表點檢表欄掲記ノ證據參照、右證據ヘ孰レモ二通ノ内一通）フ順次作成シ其ノ都度内一通ヲ同工場ニ備付ケ他ノ一通ヲ京城土木出張所ニ送付シテ夫々行使シ次テ右期間内同工場ニ於テ前同様壇ニ相被告人谷口季敏及金鍾尚ヲシテ右虛偽ノ點檢表ニ基キ各該當工事ニ關スル同工場名義ノ前敍各勞力費整理台帳及各豫算差引簿ニ夫々數百回ニ亘リ前記虛無ノ人夫賃金ヲ人夫ニ對スル賃金トシテ真實費消シタル如ク順次虛偽ノ記載ヲ爲サシメ（前記各表各該當文書欄掲記ノ證據參照）其ノ都度之等帳簿ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使スルト同

時ニ前同様壇ニ前記金鍼高等ヲシテ前記虛偽ノ點検表ニ基キ
 京城土木出張所名義ノ就役票用紙ニ前敍虛實不明ノ人夫氏名
 就役月日及賃金額（金十二錢乃至三圓三十六錢前記期間内ニ
 於テハ計金三千四百十一圓七十七錢）等ヲ記入セシメ工場主
 任欄ニハ自己ノ檢閱印ヲ押捺シテ該人夫カ夫々額面金額ノ賃
 金ニテ就役シタルコトヲ證スル旨ノ虛偽ノ就役票二千六百九
 十一通（前記各表就役票欄掲記ノ證據參照）ヲ一回ニ數通又
 ハ數十通宛數百回ニ亘リ順次作成シ其ノ都度相被告人谷口季
 敏等職員ヲシテ指定人夫賃金立替拂人タル京畿道金浦郡陽東
 面加陽里二百二十五番地金慶延ノ代理人タル同里同番地金在

 朝鮮總督府
 戊方ニ於テ同人ニ對シ右虛偽ノ就役票ヲ一回ニ數通又ハ數百
 通宛一括シテ交付セシメテ行使シ同人ヲシテ右各就役票ヲ眞
 正ナル文書ナリト誤信セシメ因テ右期間内ニ於テ同人方ニ於
 テ同人ヨリ就役票ノ額面金額ヨリ一定手數料ヲ控除シテ前記
 各表欄取金額欄表示ノ如ク計金三千三百十八圓九錢ヲ賃金立
 替拂名義ノ下ニ數圓四ニ亘リ受取り欄取シ尙右金在戊カ前敍
 ノ如ク彼上虛偽ノ就役票額面金額ヲ立替拂賃金トシテ支拂請
 求ヲ爲シタル際京城土木出張所ヲシテ之ヲ支拂ヘシムル爲昭
 和十二年六月十六日頃ヨリ昭和十三年一月初旬頃迄ノ間陽川
 工場ニ於テ十五回ニ亘リ前同様壇ニ相被告人谷口季敏等職員

序挿入

フシテ毎月二回各工事毎ニ作成スヘキ工場主任松添清名義ノ
 前敍傭人使役證明ニ前敍虛無ノ人夫ヲ眞實使役シタルコトヲ
 證スル旨ノ記載ヲ爲サシメテ虛偽ノ該證明書三通乃至四通宛
 (前記各表虛偽使役證明書欄掲記ノ證據参照)ヲ順次作成シ
 一通フ同工場ニ備付ケシメ他ノ二通又ハ三通ヲ同出張所ニ送
 付セシメテ夫々行使シ更ニ昭和十二年七月初旬頃ヨリ昭和十
 三年一月初旬頃迄ノ間陽川工場ニ於テ十五回ニ亘リ前同様壇
 ニ相被告人谷口季敏等フシテ毎月五日各工事毎ニ作成スヘキ
 工場主任松添清名義ノ前敍工事功程報告・同報告書附表及豫
 算現在表ニ夫々前敍金額ヲ工事費トシテ費消シタル旨記載セ
朝鮮總督府
 シメテ虛偽ノ右各文書各二通宛(前記各表各該當文書欄掲記
 ノ證據参照)ヲ順次作成シ其ノ都度各一通フ陽川工場ニ備付
 ケシメ各一通フ同出張所ニ一括シナ送付セシメテ夫々行使シ
 (二)京城土木出張所一山工場主任トンテ同出張所長ノ命ニ依リ同
 工場ニ於ケル同出張所直營漢江改修工事タル中面護岸及水制
 工事・一山堤補強工事・二山浦下流護岸追加工事並金浦第十
 一號工事等施行ノ實ニ任ン之カ爲人夫ノ傭入、就役人夫ニ交
 付スル就役票等文書ノ作成保管其ノ他工場内ノ一切ノ事項ヲ
 監理中同工場ニ於ケル人夫就役票ノ作成其ノ他事務取扱手續
 ハ同出張所工場事務取扱手續中改正後ニ臘スルヲ以テ前敍

陽川工場ニ於ケルト幾分其ノ取扱手續ヲ異ニシ先ツ人夫傭入
ヲ爲スニ當リ傭入票ニ傭入人夫ノ本籍住居年齢氏名賃金
其ノ者ニ與ヘタル人夫番號等ヲ記載シ其ノ者ノ捺印ヲ微シ工
場主任ニ於テ検閲印ヲ押捺シテ傭入手續ヲ了シ點検査察係力
毎日工事現場ニ到リ就役人夫ノ出面點檢ヲ爲シナ傭人點檢野
帳ニ就役人夫ノ番號日給又ハ課程賃金等ヲ記載シ之ニ基キ傭
人點檢表ニ就役人夫ノ氏名及賃金ヲ記載シ次テ前敍陽川工場
ニ於ケルト同様ノ努力費整理台帳及豫算差引簿ノ整理ヲ了シ
タル上五日目毎ニ右點檢表ニ基キ傭人就役票ヲ作成シナ人夫ハ
ニ交付シテ就役票交付表ニ受領人夫ノ捺印ヲ徵シ受領人夫ハ
朝鮮總督府
定メラレタル賃金立替拂人ニ就役票ヲ交付シ一定手數料ヲ支
拂ヒテ賃金立替拂フ受ケ立替拂人ヘ毎月二回立替拂賃金受領
代人トシテ京城土木出張所ニ對シ支拂請求ヲ爲シ同出張所ニ
於テハ右工場ヨリ毎月二周一日ヨリ十五日迄及十六日ヨリ月
末迄ノ各半月分ノ傭人點檢野帳、右十五日及月末ニ締切リタ
ル傭人點檢表、右各期間使役シタル人夫數其ノ賃金額及賃金
受領代人等ヲ證明スル旨ノ傭人使役證明書並其ノ人夫種別ニ
内容ヲ記載シタル使役傭人報告書等ヲ送付シ來ルヲ以テ之等
文書ヲ調査ノ上其ノ受領代人ニ賃金ノ支拂ヲ爲シ毎月五日頃
迄ニ同工場ヨリ前敍陽川工場ニ於ケルト同様ノ工事功程報告

書、同報告書附表及豫算現在表ヲ京城土木出張所ニ送付スル
 手續ヲ爲シ尙絞上各文書ハ執レモ各工事毎ニ作成整理シ居リ
 タルカ前記各工事ハ執レモ豫算消費額ニ比シ工事功程過涉シ
 居リタルトヨロヨリ相告人金今先及同朴聖緒等ト共謀ノ上
 (朴聖緒ハ昭和十三年七月以後共謀加擔)右各工事ニ付前同
 機虛無ノ人夫ヲ使役シタルカ如ク裝ヒ就役票其ノ他虛偽ノ文
 書ヲ作成行使シテ人夫質立替拂名義ノ下ニ立替拂人ヨリ金員
 ヲ騙取セムコトヲ企テ昭和十三年四月上旬頃ヨリ昭和十四年
 五月中旬迄ノ間前記一山工場ニ於テ先ツ職務ニ關シ行使ノ
 目的ヲ以テ宣ニ相被告人金今先、李聖基、若ヘ相被告人朴聖
 緒等職員ヲシテ各工事毎ニ人夫傭入ノ都度作成スヘキ前絞
 人傭入票ノ用紙ニ虛實不明ノ金吉株外百二十八名ヲ人夫トシ
 テ備入レタル旨記載セシメ工場主任欄ニヘ自己ノ檢閱印ヲ押
 鑑シテ虛偽ノ傭入票數百通(別紙第三乃至六表傭入票入
 票欄掲記ノ證據参照)ヲ順次作成シ其ノ都度之等ヲ同工場ニ
 備付ケシメテ行使シ置キタル上昭和十三年四月十一日頃ヨリ
 昭和十四年五月十五日頃迄ノ間同工場ニ於テ前同様境ニ李聖
 基若ヘ相被告人朴聖緒等職員ヲシテ各工事毎ニ作成スヘキ傭入點檢
 成スヘキ前絞傭人點檢野帳及各工事毎ニ作成スヘキ傭人點檢
 表ニ夫々別紙第三乃至第六表幽靈人夫欄表示ノ如ク右金吉株

外百二十八名延人員九千百九十六名ヲ土運搬工、捨張石工等奉
矣ナシテ一日數人又ハ數十人宛一人前賃金十五錢乃至三圓五十
十錢右期日間内ニ於テハ賃金計金八千二百九十四圓六十錢ニ
テ使役シタル如ク虛偽ノ記載ヲ爲サシメ工場主任欄ニ自己ノ
檢閱印ヲ押捺シテ夫々數百回ニ亘リ虛偽ノ點檢野帳及點檢表
各數百通（前記各表各該文書欄掲記ノ證據參照）ヲ順次作成
シ其ノ都度之等ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使シ次テ右期間内
同工場ニ於テ前同様壇ニ組被害人金今先等ヲシテ右虛偽ノ點
檢表ニ基キ各該當工事ニ關スル同工場名義ノ前敍各勞力費整
理台帳及豫算差引簿ニ數百回ニ亘リ右金額ヲ人夫賃トシテ費

朝鮮總督府

消シタル如ク順次虛偽ノ記載ヲ爲サシメ其ノ都度之等各帳簿
ヲ同工場ニ備付ケシメテ行使スルト同時ニ前同様壇ニ數百回
ニ亘リ前記李聖基若ハ相被告人朴聖緒等ヲシテ前記虛偽ノ點
檢表ニ基キ京城土木出張所名義ノ所定就役票用紙ニ前敍虛無
ノ人夫氏名就役月日及一日乃至五日分ノ賃金額（一日金十五
錢乃至三圓五十錢）等ヲ記入セシメ工場主任欄ニハ自己ノ檢
閱印ヲ押捺シテ該人夫カ夫々額面金額ノ賃金ニテ就役シタル
コトヲ證ヌル旨ノ虛偽ノ就役票計二千四百十四通（前記各表
就役票欄掲記ノ證據參照）ヲ一圓ニ數通又ハ數十通宛作成シ

之ト同時ニ其ノ都度前同様壇ニ職員ヲシテ前敍就役票交付表

ニ前記虛無人夫名義ノ印章ヲ押捺シ工場主任欄ニ自己ノ檢閱

印ヲ押捺シテ就役票ヲ人夫ニ交付シタル旨ノ虛偽ノ文書ヘ前

記各表ノ交付表欄掲記ノ證據参照一ヲ順次作成シ其ノ都度之

フ同工場ニ備付ケシメテ行使シタル上昭和十三年四月十六日

頃ヨリ昭和十四年五月中旬頃迄ノ間ニ於テ數百回ニ亘リ相被

告人金今先等ヲシテ指定ノ人夫質立替拂人タル京畿道金浦郡

金浦面北邊里三百五十三番地細野定次郎ノ代理人タル同里同

番地清水銀松方若ハ一山工場ニ於テ右虛偽ノ就役票ヲ一回ニ

數通乃至數十通宛清水銀松ユ一括シテ交付セシメテ行使シ同

朝鮮總督府

人ヲシテ右各就役票ヲ真正ノ文書ナリト誤信セシメ因テ同人

ヨリ其ノ都度其ノ場ニ於テ就役票額面金額ヨリ一定手數料ヲ

控除シ前記各表騙取金額欄表示ノ如ク計金八千五十五圓十九

錢ヲ人夫質立替拂名義ノ下ニ受取り騙取シ尙右清水銀松力前

敍ノ如ク敍上虛偽ノ就役票額面金額ヲ立替拂質金トシテ支拂

請求ヲ爲シタル際京城土木出張所ヲシテ之ヲ支拂ハシムル爲

前記^期間一山工場ニ於テ三十七回ニ亘リ前同様壇ニ相被告人

金今先^第ヲシテ孰レモ各工事毎ニ毎月二回各三通宛作成スヘキ

一山工場主任松添清名義ノ前敍備人使役證明書及使役備人報

告書ニ夫々前敍虛無ノ人夫ヲ使役シタルコトヲ證ヌル旨順次

一序訂正

虚偽ノ記載ヲ爲サシメ「前記各表各該當文書欄掲記ノ證據參照」其ノ都度各一通ヲ一山工場ニ備付ケシメ他ノ各二通ヲ之ト各半月分ノ前敍虚偽ノ點檢野帳及點檢表ト一括シテ二十五回ニ亘リ京城土木出張所ニ送付セシメテ夫々行使シ更ニ昭和十三年五月上旬頃ヨリ昭和十四年六月上旬迄ノ間一山工場ニ於テ三十七回ニ亘リ前同様壇ニ相被告人金今先ラシテ孰レモ各工事毎ニ毎月五日作成スヘキ一山工場主任松添清名義ノ前敍工事功程報告書、同報告書附表及豫算現在表ニ夫々前記虛無人夫ニ對スル賃金ヲ眞實工事費トシテ費消シタル旨夫々虛偽ノ記載ヲ爲サシメ「前記各表ノ各該當文書欄掲記ノ證據參照」其ノ都度各一通ヲ一山工場ニ備付ケシメ他ノ各一通ヲ一括シテ二十五回ニ亘リ京城土木出張所ニ送付セシメテ夫々行使シ

朝 鮮 總 督 府

(3) 前記京城土木出張所一山工場主任トシテ工事材料等ノ保管事務ニ從事中相被告人金今先ト共謀ノ上
 (4) 昭和十三年十月初旬(陰八月初旬)右工場ニ於テ業務上保管中ノ水害防備用貯二千枚ヲ壇ニ京畿道高陽郡松浦面法串里二百三十八番地金陳德ニ金二百二十圓ニテ賣却シテ横領シ

(口) 同年十一月二十一日頃同工場ニ於テ業務上保管中ノ古鐵七

頃施金百貫及古銭金六十貫ヲ壇ニ京城府東水庫町百四十三番地郭壽龍及同府桃花町四百十九番地ノ七四金光英兩名ニ

計金一千六十圓ニテ賣却シテ横領シ

(ハ)昭和十四年四月二十二日同工場ニ於テ業務上保管中ノ古「

レール」二十一本ヲ壇ニ金浦郡金浦面北邊里百八十八番地

古物商金鍾煥ニ金四百十圓ニテ賣却シテ横領シ

第二、被告人谷口季敏ハ昭和十年四月一日京城土木出張所陽川工場ニ人夫トシテ採用セラレ昭和十二年五月一日同出張所工場雇(備人)ヲ命セラレ其ノ後ハ同工場ニ於テ業務係主席トシテ工場主任ヲ補佐シ特ニ豫算差引簿ノ記帳等ノ事務ヲ擔當シ

朝鮮總督府

居タルモ昭和十三年四月十二、三日頃同出張所嘉島工場詰ト爲リ昭和十三年六月一日咸鏡南道治水事務所工場雇ヲ命セラレ昭和十四年四月一日咸鏡南道治水事務所工場雇ヲ命セラルトコロ右陽川工場ニ於テ事務係主席トシテ勤務中相被告人松添清ト共謀ノ上前記第一ノ(一)記載ノ犯行ヲ爲シ

第三、被告人金今先ハ昭和八年一月一日京城土木出張所工場雇ヲ命セラレ同出張所金浦工場詰ト爲リ昭和十二年五月一日同工場カ一山工場ト改稱セラレタル後モ引續キ同工場ニ於テ勤務

シ事務主席トシテ工場主任ヲ補佐シ特ニ豫算差引簿ノ記載、

工事功程報告書ノ作成等ノ事務ヲ擔當シ居タルモ昭和十四年五月三十一日免職ト爲リタリモノナルトコロ右一山工場ニ於テ事務係主席トシテ勤務中相被告人松添清ト共謀ノ上前記第
一ノ(二)及(三)記載ノ犯行ヲ爲シ

第四、被告人朴聖緒ハ昭和十二年五月一日ヨリ京城土木出張所一山工場ニ常夫（傭人）トシテ雇ハレ事務補助ヲ爲シ居タルモ昭和十四年五月三十日免職ト爲リタルモノナルトコロ右一山工場ニ勤務中昭和十三年七月頃以降相被告人松添清ト共謀ノ上前記第一ノ(二)記載ノ犯行中昭和十三年七月以降ノ犯行ヲ爲シタリ而シテ右被告事件ハ貴裁判所ニ於テ審理中ニ屬スルニ

朝鮮總督府

依リ被告人等ノ右犯罪行爲ニ因リテ原告國ノ蒙リタル損害金ハ主文記載ノ通ナルヲ以テ之カ賠償ヲ請求スル爲公訴ニ附帶シ私訴ノ提起ニ及ビタリ

證據方法

一、御應ニ於ケル被告人ノ供述並證據物件

附屬書類

一、訴訟代表者指定書一通

昭和 年 月 日

右原告指定代表者

明治總督府土木事務官 加 来 與 四 郎	京 機 地 方 法 院	刑 事 部 御 中	調 研 事 務 所
----------------------	-------------	-----------	-----------

物品被害ノ状況

一、昭和十三年十月初喰一山工場ニ於テ松添清及金今先共謀ノ上水害防備用臥二千枚ヲ賣却シタルモノニ對スル物品處理狀況

記

右臥ハ昭和十二年七月二十七日洪水防備用トシテ五千枚購入ノ上工場主任タル物品取扱主任ニ全數量ヲ拂出シ物品取扱主任ハ該年度ノ防水用トシテ一部使用セルニ不拘全數量ヲ使用セル如ク帳簿上ノ拂出ヲ爲シタルガ事實ハ右全數量ノ内二千枚ハ殘材料トナリタルモノナリ之ヲ壇ニ他ニ賣却セリ

二、昭和十三年十一月二十一日古鐵七噸砲金百貫及古針金六十貫ヲ賣却セルニ對スル物品處理ノ状況

記

工事用ニ要スル諸工事材料品ハ其ノ必要ニ應ジ購入ノ上物品取扱主任亦必要ノ都度材料品拂出ノ上使用シツツアル處土運車用「ベアリ

朝鮮總督府

ング」同「メタル」等ハ使用中自然磨滅シ其ノ用ヲ爲サザルニ至ル時ハ新品ト取替フ要ス然ルニ磨滅使用ニ堪ヘザルモノハ發生品トシテ適宜數量ノ經リタル上ハ之ヲ一括シテ物品會計官吏ニ引繼ノ上類外品トシテ處理スルノ手續ヲ爲シ來リタル處之ガ物品會計官吏ニ引継フ爲サヌ壇ニ賣却シタルモノナリ

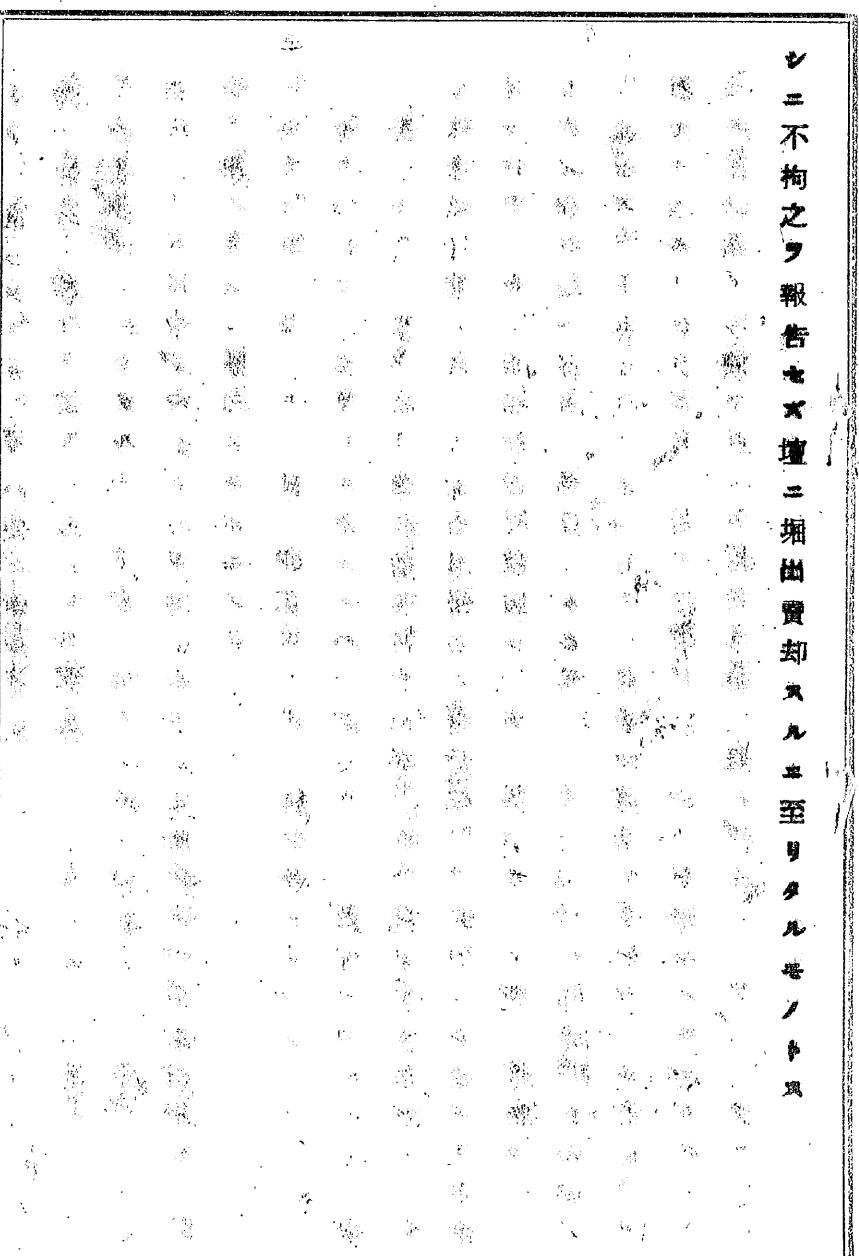
三、昭和十四年四月二十二日一山工場ニ於テ保管中ノ古「レール」二十一本ヲ騙取賣却セラレタルモノハ昭和六年十二月一日ヨリ昭和八年四月二十日ニ亘り漢江改修金浦防水第三工區築堤其他工事實施ニ伴ヒ排水路付替ノ爲ニスル土運搬用ノ運搬線路ヲ敷設シタルガ工事中途ニ於テ洪水ノ爲締切箇所缺壞シ不慮ノ災禍ヲ蒙リ新水路底ニアリタル敷設線路ハ泥土ニ埋没シタルモノナル處右ハ該排水門ト聯繫スル金浦水門工事完成ノ上ハ流水ハ自然圓滑トナリ從ツテ漸次土砂流失セラルヲ以テ後日ニ於テ掘出可能ナルベキ時期ノ到來ヲ期シ工事主任供用ノ儘置キタルガ松添工場主任ハ埋没「レール」ヲ發見セ

日本標準規格 B4(364×257mm.) 太平堂納

朝鮮總督府

セニ不拘之ヲ報告セテ壇ニ烟函賣却スルニ至リタルモノト異

太平堂納



日本標準規格 B5(182×257mm.)

研-0445

0482

昭和十六年十月二十二日

朝鮮總督 南

次

朝鮮總督府

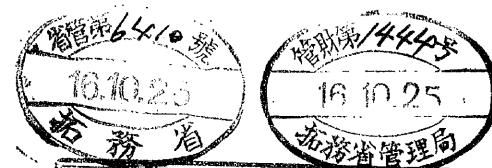
拓務大臣 東 郷 茂 德 殿

朝鮮總督

南



元朝鮮總督府内務局京城土木出張所勤務技手松添清外三名ニ係ル公文
書偽送行使詐欺業務横領事件別記ノ通及報告候也



日本標準規格 B5(182×257mm.)

太平堂納

研-0445

0483

別紙二

政府損害金据置貸付一部辨濟内譯書		朝鮮總督府
氏名	區分	
松添	被害額	
谷口季敏	辨濟額	
松添計	差引未濟額	
朴金今	摘要	
合計		
聖		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金		
松		
添		
谷		
口		
季		
敏		
松		
添		
朴		
金		
今		
聖		
計		
計		
計		
清		
先		
清		
緒		
計		
今		
聖		
計		
合		
朴		
金	</td	

昭和十六年十一月七日

朝鮮總督府財務局長 水

朝鮮總督府

拓務省管理局長 山 越 道 三 殿

公金被害ニ關スル件

十月二十二日附拓務大臣宛報告致置候本府内務局京城土木出張所於
ケル公金被害金ノ内左記ノ通犯人等ニ於テ辨濟致候條別紙内譯書添附
此段及報告候也

追テ被害金額ニ付ナハ何レモ無資産ニ付貸付金ニ編入方目下處理
中ニ付申添候

被害金額 / 金壹萬參千參百九拾六圓參拾七錢也
辨濟額 / 金貳千七百參拾圓四拾四錢也
差引殘額 / 金壹萬六百六拾五圓九拾參錢也

日本標準規格 B5(182×257mm.)

太平堂納

